

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学習支援レインボー 総社中央教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 一対一、一対二での個別療育時間で児童に応じたオーダーメイドでの療育を実施しています。	・ 30分間の個別療育時間を使い児童の得意・不得意を明確にして、できる部分を使いながら苦手部分へのアプローチ ・ SST教材を使用し、紙面上から学びながら実践でも使えるようにワーク形式での実践練習を行っています。	構造化や視覚支援の取り組みをより一層深化させます
2	児童が楽しく通える雰囲気作りや、保護者の方も含めて満足してもらえるようなプログラムを用意している。 スタッフも保育士などの資格・経験のある者を配置基準以上に配置しています。	基本的に、『認める』『褒める』『大事にする』ことで、児童自らの自己肯定感を上げ意欲的に取り組みたいくなるような関わりを意識して行っています。	定期的にスタッフ間で勉強会を行い、支援内容を考えたりして、知識を深めるなど、スキルアップを図っています。
3	利用児の関係機関との連携を定期的に行っている。	保護者、学校、学童、相談支援、習い事等と話をすることで、学校や学校以外での様子を把握することが出来ている。	引き続き継続していく。 関係連携を深めていくために必要に応じて頻度を増やしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 運動スペースが狭い	・ 公園・施設等が遠いため、室内のみでの実施している ので、天井や運動スペースの狭さがあり、子供たちが楽しく走り回るなどの行動ができない。	・ 運動プログラムを創意工夫してマンネリ化しないようにいくことでスペースの狭さを感じさせないようにしている。
2	・ 地域の方との交流の機会が少ない	・ 集団療育の活動時間の短さや昔遊びなど地域交流できるネットワークの構築不足	・ 外部に出かけられる機会を増やし、地域の方など関わられる回数が増えるようにしていきます。
3	避難訓練など行っているがいつものように行ったなど保護者の方に伝えられていない部分があった。	避難訓練の様子の写真などもなく、訓練日もお便り等に掲載することがなかったため	訓練の様子の写真やお便りなどで保護者の方に伝えていく必要がある